

愛知県に本社を置く企業12社が中高生の夏休み期間を利用して、女子生徒を対象に職業体験などのツアーを相次ぎ開催している。産業界からは、専門知識や分析力に優れた理系女性の活躍に期待が高まる一方で、女性の理系学部進学率は2割程度にとどまっている。愛知では、大学への進学や就職時に人材が首都圏へ流出している事情もある。企業は早い段階から生徒との接点を持つことで、理系進路の選択拡大や企業イメージの向上などにつながりたいと考えた。

(岩崎幸一)

# 女子中高生向け 職場体験ツアー

## 愛知の12社相次ぎ企画

STEM領域の職場  
体験ツアーを初開催  
したエイチームホー  
ルディングス



## 理系進路の選択肢拡大へ

いった固定観念を払拭し、興味を持ってもらえたと将来のキャリアを具体的に想像するきっかけを提供したい思いがあった。今回の初開催を通じて、STEM分野で働く女性社員がロールモデルとなることの重要性を再確認した」と語る。継続的に接点を持つ機会提供の必要性も学べたという。

### 関東、関西からも

おとろけ男いしかわで、8月6日に高浜市の本社で「1日に2万丁売れる！おとろけ屋さんの理系のお仕事に迫る！」をテーマに、学べる内容なら、遠方からでも意識が高い人に興味を持ってもらえることがわかった」と手応えを感じた様子だ。

チームプランナーやウェブサービスデザイナーを手掛けた。広報担当者はオフィスツアー実施の狙いについて、「STEM分野で活躍する女性社員と中高生が直接交流することで、『STEM分野は男性向き』とマにした食品製造の舞台裏ツアーを開いた。豆乳の凝固反応や味の変化を化学の視点から紹介。参加者から「家でもやってみよう」という声があったほかに、地元企業の魅力を発見できる取り組みを加速していきたい」としている。

職場体験ツアーを企画（実施分含む）したのは、愛三工業、エイチームホールディングス（HD）、おとろけ男いしかわ、小島組、テルミック、トヨタ自動車、名古屋銀行、日東工業、フタバ産業、松尾製作所、丸ハテント商会、盟和精工の12社。

愛知県出身でメルカリ創業者の山田進太郎氏が設立した財団、公益財団法人山田進太郎D&I財団が中高生女子向けのSTEM（理系）体験プログラム「Girls Meet STEM（ガールズ・ミート・ステム）」を主導し、愛知県も県内学校への周知などに協力した。

**固定観念払拭へ**  
エイチームHDは7月29日、名古屋市の本社でオフィスツアー「ゲーム作りやデザイナーのお仕事をのぞいてみよう」を実施した。参加した中高生17人のうち10人が東海、4人が関東、2人が中国・四国、1人が関西からだった。女性のゲ